

年間授業計画

教科:(工業)科目:(建築構造設計) 対象:(第1学年) (1)単位 使用教科書:建築構造設計(実教出版)

教科担当者:(金子 淳一 (印) 小林 克哉 (印))

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目建築構造設計の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月	建築物に働く力	1 いろいろな構造物 2 建築物に働く力 3 力学的にみた建築物	・様々な建築構造物について理解する。 ・建築物に作用する様々な力を、普通の生活に落とし込んで理解する。 ・力学的に建築物をとらえ表現方法を理解する。	3
5月	力の基本	1 力 2 力の合成と分解 3 力の釣合い	・力について力学的な表現方法を理解する。 ・ベクトルの考え方を理解し、力の合成と分解について作図し理解できる。 ・ベクトルの考え方に従い、力が釣り合った時の状態を図式解法で表現できる。	3
6月	構造物と荷重および外力	1 支点と節点	・構造物の支え方や接合方法を理解する。 ・様々な支点や節点の力学的特徴を理解する。	4
7月	構造物と荷重および外力	2 荷重および外力	・構造物に作用する荷重や外力を理解する。 ・荷重や外力の表現方法や定義について理解する。	3
8月				0

	指導内容 【年間授業計画】	科目建築構造設計の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
9月	構造物と荷重および外力	2 荷重および外力	<ul style="list-style-type: none"> ・構造物に作用する荷重や外力を理解する。 ・荷重や外力の表現方法や定義について理解する。 	4
10月	反力	1 反力	<ul style="list-style-type: none"> ・反力の考え方について理解する。 ・支点によって作用する反力の違いを理解する。 	4
11月	反力	2 反力の求め方	<ul style="list-style-type: none"> ・作用する反力を仮定し、荷重から反力計算を行うことができる。 	3
12月	反力	2 反力の求め方	<ul style="list-style-type: none"> ・作用する反力を仮定し、荷重から反力計算を行うことができる。 ・複数の荷重がかかった時の反力計算を行うことができる。 	3
1月	反力	2 反力の求め方	<ul style="list-style-type: none"> ・作用する反力を仮定し、荷重から反力計算を行うことができる。 ・等分布荷重について理解し、反力計算を行うことができる。 	2
2月	反力	2 反力の求め方	<ul style="list-style-type: none"> ・作用する反力を仮定し、荷重から反力計算を行うことができる。 ・等変分布荷重について理解し、反力計算を行うことができる。 	3
3月	反力	2 反力の求め方	<ul style="list-style-type: none"> ・作用する反力を仮定し、荷重から反力計算を行うことができる。 ・様々な荷重がかかった状態の反力計算を行うことができる。 	3